

もてぎチャンピオンカップレース 第5戦 レポート

(ツインリンクもてぎ ロードコース 9月1日 晴れ)



<レーシングチーム> LTV Racing

<ドライバー> 天野 翼 (20歳)

<参戦クラス> Super-FJクラス(ゼッケン23番 参加13台)

<マシン> ZAP F109

<スポンサー> T-PLAN様

<タイヤ> YOKOHAMA

<オイル> WAKO'S

<リザルト> 予選 3位

決勝 7位

<リザルト詳細URL>

ツインリンクもてぎ http://www.twinring.jp/result_m/2013/4wheel/

Super-FJオフィシャル <http://www.jss-org.com/>

<詳細レポート>

* 金・土曜日練習走行

もてぎチャンピオンカップ第5戦は東コースでの開催で、天野選手にとって初コースとなる為、金・土曜日の練習走行全8セッションを精力的に走行した。練習でトップタイムをマークしていたこれまでのレースと違い、常にトップとの差がコンマ5秒もある状況で、セットアップを模索する事となる。しかし、リアタイヤの消耗からくるグリップ不足が解決できず、厳しいレースが予想された。

* レース当日

【公式予選】

タイヤの消耗が解決できていない為、決勝レースに少しでもタイヤライフをとっておくためにも、最小限のアタックを試みる。タイヤがもっともグリップする7周目に自己ベストの1分28秒5をマークするが、トップとはコンマ5秒の差がある。クールダウンラップを取り再アタックを試みるが、タイヤの発熱が大きくなりタイム更新に至らなかった。しかし、現状ではベストと言える1'28.593で、予選3番手となった。ポールポジションは1'28.014で、このクラス全てのレースでポールのトゥーウィン成し遂げている根本選手となる。

【決勝レース】

スタート直前、今までの暑さから一転、雨雲が発生し雷と冷たい風が吹いてきた。コース上ではレインタイヤも用意されたが、雨粒は落ちずドライコンディションでスタートとなる。天野選手は、ホイールスピンもストールしかけた訳でもなかったが、動き出しが遅く1コーナーで順位を2つ落としてしまう。今までの経験から無理をせず追いつきに備えたのだが、なかなかタイヤグリップが上がらない。さらにV字コーナーで立ち上がりが遅れ、4位の選手から遅れると同時に、6位の選手が背後に迫ってしまう。2周目のストレートでスリップに付かれ1コーナーへなんとか抑えて侵入するが、続く2コーナーをオーバースピードで進入してしまい痛恨のスピンを喫してしまう。11位でコース復帰し、その周に1台、3周目に1台、4周目に1台、11周目に1台と着実に順位を上げ、6位の選手の背後に迫ったところでチェッカーとなった。レース後に、接触による左リアタイヤと、ブレーキバランスが壊れていた事が発覚。トラブルを抱えペースが上がらない中でも、ベストラップは全体の4番手を記録し、諦めずに7位まで挽回することができた。



もてぎシリーズはあと1戦残っていますが、今回は最後のレースとなります。もてぎシリーズ第6戦と同日に鈴鹿サーキットで開催されている F1 日本グランプリのサポートレースに出場する事になったからです。もてぎシリーズでは満足のいく結果が残せず悔いが残りますが、なかなか経験することができない、またとないチャンスにチャレンジします。これまでのレースは、練習と予選までは良いのですが、決勝でスタートからリズムに乗れず、本来の力が発揮できていませんでした。これまでの経験を活かしてとにかくスタートを決めて、気持ちの良い走りを大観衆の前で披露してもらいたいと思います。日本一決定戦（鈴鹿）まであと2戦、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

【ドライバーコメント】

正直、今回は今季のレースで1番苦戦を強いられたレースとなりました。ただ、レース中に焦ってしまって順位を落とすレースが続いていましたが、今回は焦らずにレースが出来たと思います。スタートで出遅れた時も、順位をすぐに取り戻そうと無理をするのではなく、しっかりと体勢を立て戻してから前を1つ1つ狙うという気持ちの余裕もありましたし、スピンを喫した後も走りを乱さず出せるベストの走りでレースできたと思います。日本一決定戦に向けて、今回のペース不足の原因をしっかりと追求し、ドライバーとしてさらに一皮でも二皮でも剥けて、成長していきたいと思います。応援ありがとうございました。次戦も天野翼をよろしくお願いいたします。